

■ 図版で紡ぐ、ヴィクトリア朝から近代への壮大な社会変革の記録

# 『ザ・グラフィック』1869-1932年 The Graphic, 1869-1932

19~20 世紀のヨーロッパ美術における最も重要な革新に触れる



『The Graphic』は、芸術家であり社会改革者でもあった William Luson Thomas によって創刊され、1869年12月4日に初めて発行されました。当初は『The Illustrated London News (ILN)』の競争相手として登場しましたが、最終的には ILN の姉妹紙の一つとなりました。本誌は、イギリスの支配階級が持つ保守的かつ強硬な帝国主義的思想を反映していましたが、Thomas の社会的良心と専門的なビジョンにより、『The Sketch』や『The Sphere』といった、より右派寄りの英国の挿絵入り新聞とは一線を画していました。

革新的なアプローチとして、貧困、ホームレス問題、公衆衛生といった社会問題に注目し、Thomas は挿絵画家たちにロンドンの街を歩き回り、リアルな情景や主題を探すよう奨励

しました。本コレクションには、1869年12月から1932年4月までに発行された約3,500号から、11万7,000点近くの図版が収録されています。

本誌は、政治、国際関係、宗教、科学に関する記事を掲載し、芸術の発展にも重要な役割を果たしました。革新的な文学作品や演劇評論、美しい挿絵を掲載し、当時の印刷メディアの中でも特に優れた視覚表現を誇りました。ヴィクトリア朝の評論家 Harry Quilter は、『The Graphic』の画家たちが挿絵ジャーナリズムにもたらした本質的な変革について言及しています。また、フィンセント・ファン・ゴッホは、この新聞に掲載された社会意識の高い美術表現から大きな影響を受けました。

本誌には、名だたる作家や芸術家が作品を寄稿しており、先駆的な画家・映画監督・作曲家である Hubert Herkomer、風刺的かつ幻想的なイラストを描いた Sidney Herbert Sime、著名な彫刻家 Malvina Hoffman、ロマン主義の文豪ヴィクトル・ユゴー、そして名高い英国の小説家・詩人トーマス・ハーディなどが名を連ねています。

その豊富な芸術作品と多岐にわたる評論、国内外の日常生活を生き生きと、そして徹底してリアルに描いたコンテンツにより、19世紀後半から20世紀初頭にかけての英国社会における劇的な変化を記録するアーカイブ資料となっています。本コレクションは、英国の文化・社会・政治史、美術史、印刷メディア史、植民地史に関心のある学生や研究者にとって貴重な資料となるだろう。

## 大学・学術機関向け価格

FTE (学生数+教職員数)	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000~19,999	20,000~29,999	30,001 以上
Archive 買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください				

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの年間管理費 (Annual Hosting Fee) は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

**トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで**

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS  
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル  
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル  
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761  
075(353)2093 FAX (353)2096  
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)





## ■60年を超える膨大なアーカイブを、年別に60のパートに整理したコレクション

### ● 『The Graphic』の視点と影響

『The Graphic』は、当時の他の Illustrated London News 傘下の刊行物と同様に、イギリスの王室および帝国を支持する立場を取っていました。特にアイルランドの出来事や社会状況に大きな関心を寄せており、自治や独立を求める動きには反対の姿勢を示していました。また、非ヨーロッパ圏の地域や文化をしばしば異国情緒豊かに描く傾向がありました。しかしながら、本誌は体制寄りの立場でありながらも、貧困や社会的不平等に対して一定の関心を示していました。



『The Graphic』に寄稿した芸術家たちは、新たな芸術運動の最前線に立つことが多く、1870年代には、Luke Fildes や Hubert Herkomer といった画家の作品を掲載しました。歴史学者 Barry Milligan は彼らを「新しい社会リアリズムの異端児」と評しています (Milligan, 2016)。創業者 W. L. Thomas の奨励のもと、これらの芸術家たちはイギリスの貧困層の日常生活をリアルに描き、社会的公正への関心を喚起しました。この手法は大きな影響を与え、フィンセント・ファン・ゴッホも『The Graphic』による貧困層の革新的な描写に感銘を受けたと言われています。Fildes と Herkomer はその後、大きな成功を収めました。

### ● 『The Graphic』が記録した社会の変化

本誌はその長い歴史と幅広い報道内容により、19世紀後半から20世紀前半にかけてのイギリスおよび世界の重要な変化を記録する貴重な資料となっています。例えば、女性参政権運動の成果として女性が選挙に参加できるようになったこと、イギリスの労働市場における女性の増加、高等教育の機会が女性に対して広がったことなどについて詳しく論じています。



また、本誌は科学技術の最新の進展を読者に伝える役割も果たしました。1920年代には、冷蔵庫が家庭生活に革命的な影響を与えたこと、都市部におけるより高度な交通制御システムの発明、そして摩天楼が都市景観を変貌させていることを報じています。

### ● グローバルな視点

多くの ILN 系列の出版物と同様に、本誌は国際的な視野を持っており、世界各地で勃発した戦争や蜂起について詳細に報じ、しばしば現地に挿絵画家を派遣しました。報道対象となった紛争には、カルリスタ戦争 (スペイン、1872年)、露土戦争 (1877-1878年)、英埃戦争 (1882年)、ボーア戦争 (1899-1902年)、日露戦争 (1904-1905年) などが含まれています。本誌はこれらの戦争に関する詳細なレポートを掲載し、読者にリアルな情景を伝えました。



British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで



日本総代理店 **極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)